

会員の96%、本誌を読んでいる

読者アンケート結果

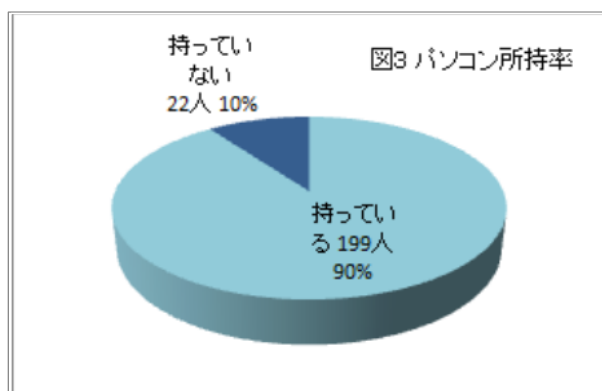
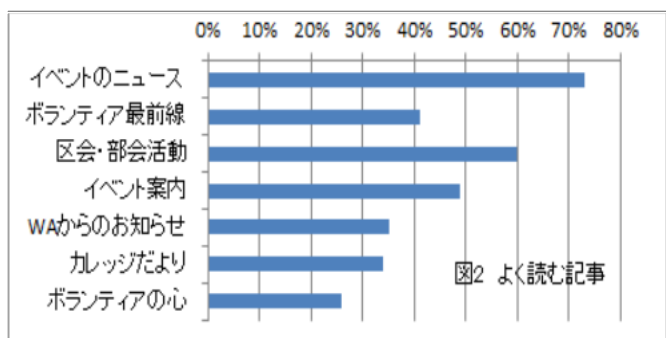
〈わ〉会員の96%が本誌を読んでいる——。広報が10月31日締め切りで行った読者アンケートの結果だ。本誌の企画、内容、レイアウトに支持が多いことも分かった。「読みやすく、一気に読む」、「面白い」、「活動の役に立つ」などのコメントも寄せられた。

2010年7月号、2013年1月号で報じた調査では、会員1300人に質問用紙を送付する形で行ったが、回答は53通、47通しかなく、本誌への関心が薄いのではないかとの疑念が残った。

そこで、今回は会員200人を無作為に抽出、質問をハガキに印刷して郵送し、78人が返送してくださった。回収率は39%。同じ内容のA4の質問用紙を作成、手渡しで、その場で書き込んでいただくという方式も実施し、144人が回答、計222人となった。

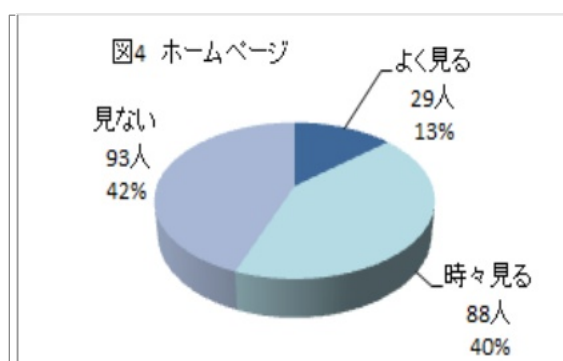
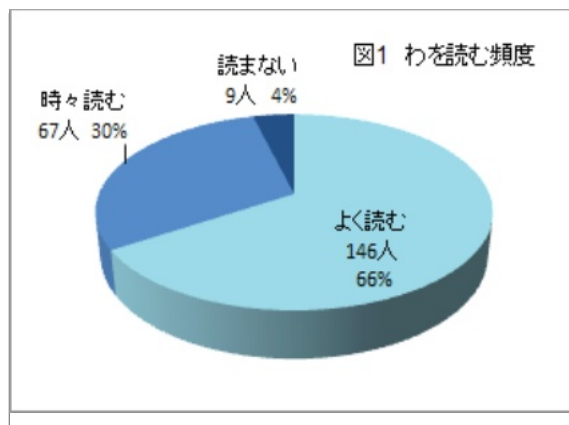
「本誌をよく読む」66%、「時々読む」30%、「読まない」はわずか4%だった。

よく読む記事は「大きなイベントを報じたニュース」



73%、「区会・部会の活動」60%、「イベント案内」49%、「ボランティア最前線」41%、「WAからのお知らせ」35%、「カレッジだより」34%だった。

ホームページへの掲載も、半数の約100人がボランティア活動の内容や紹介、イベントの開催案内、イベントの実施記録を望んでいる。「自分たちのボランティ



ア活動を知ってもらいたい」、「ほかのグループがどんなことを、どのようにしているのか知りたい」との願いがあると思われる。

パソコンは199人(90%)が持っている。「メールに文章ファイルが添付できる」は162人(73%)、「メール本文だけ利用」32人(14%)、「利用していない」は29人(13%)。パソコンを自在に操れるレベルとまではゆかないようだ。本誌を届ける方法についても現行の郵送が69%、メール配信28%となっており、これを裏付けるのではないかな。

ホームページ(HP)を「よく見る」13%、「時々見る」40%、「見ない」42%。これは、HPの存在自体を知らない、知っていても最小限の更新しかしていなかったため、閲覧する魅力に欠けていたと考えられる。

集計を終えて

HPは、今年度から、スピーディーな更新を目標に進めており、内容も正確な現状を反映させ、個々のページを作り変えた。

今後は、イベント案内(チラシ)やイベント記録(写真中心にワード、エクセルで作成)、区会報、部会報など、より多くの情報をお届けできるよう充実を図っていきたい。本誌についても、会員のみなさまの投稿やご意見、提案をお寄せください。

(広報 永野知己、岡本統一)